

2021 年に向け今を生き抜き、次世代事業のブレイクスルーを実現する！

コロナ共生、「非接触」型社会のライフスタイル、‘ C-MODE ‘

新型コロナによるパニックを始め、その影響より国内外で社会、経済、政治は揺れました。

6 月に入り、国内は落ち着き、日常を取り戻しつつあります。メディア報道のトーンもパニックから冷静に変わり、東京都行政のメッセージも自粛から自衛へ、即ち自らは自らがある種、自己責任で守る様にシフトしました。背景に、ここに至り経済がギリギリの所まで来た事や、今後 来夏の五輪開催可否が決まる事も影響しています。

又、新たな生活スタイルを前提としたトレンドにより、過去に潜在化していた流れが顕在化しつつあります。

~~~~~

「人類と地球との共生」について、今、更に、人間の価値観と生活のスタイルについての喫緊の‘ブレイクスルー’が求められています。「現状 資本主義」と「計画的 経済」のバランスに於いて、価値観、生活スタイルの「進化」含めて、最初に既存のスタイルはリセットしなければいけません。

現在の「非接触」型ビジネスは、E コマースやサブスクリプションサービス含む 5G プラットフォームのビジネスです。今後、通信インフラが 5G から XG へと Generation と進むに従い、「非接触」型の生活スタイルへの移行が加速します。このストリームは、勿論、コロナ終息後も残ります。「非接触」を一言で表すと、究極的な効率社会へのベクトルです。

(X Generation 時代、インターネットは更に表現力含め 動的、躍動的なコミュニティを形成する様になり、例えば現在の FACEBOOK 等もつまらなくさえ見えて来る様になります。過去、インターネット初期にブログが広まり、それらを束ねる形でコミュニティ化、SOCIAL に進化しました。5G 時代に加速した オンライン会議やオンライン飲み会の様な原始的な形の動画コミュニケーションが、今後、カテゴリごとに束ねられ、コミュニティ化が進みます。)

コロナで「非接触」型社会へのシフトが加速していますが、考えてみると、過去、スペイン風邪、天然痘、SARS 含め、人類は、「接触」型社会のままに感染症を乗り越えてきました。

この「非接触」型社会が進むと、種としての人間は弱体化します。効率を追求する「AI がマネジメントする社会」に於いて、人間の役割は縮小します。例えば、AI は入力情報から自己学習と進化を光のスピードで繰り返します。

効率のみを追求しない生物、人間の営みは、インプット情報の延長にない「突然変異」、変化したアウトプットを行います。ある種、効率でない次元に AI と異なる人間の長があります。

\*\*\*\*\*

一方、「非接触」型の反動で、「接触」型のスタイルが求められ、需要が高まる事も事実です。人間は動物であり、五感を使う欲求がある為です。新たな「接触」型社会が生まれつつありますが、コロナ終息後も抽出されたエッセンスが残ります。ICA の場合、現在の「接触」型ビジネスは 一般小売やシネコン等「実店舗での流通事業」です。今、欧米で、リアルドラッグストアのサービスが再び伸びていると聞きます。自動車内によって、集団での「密」でない、個別空間を設けるという発想です。

この環境下、ICA は、カルチャーに於いては C-MODE(\*) と名付ける、敢えて「接触できるような環境をつくり、接触する

事で生まれるものを大事にし、その環境でのカルチャーとファッションを楽しむ」スタイルを提唱します。次世代の「接触」型ビジネスを立ち上げます。

*\* C-MODE: Contact-type Life Style born in the age of the Covid-19.*

ポジティブな指標として、コロナから完治した者、即ち「抗体を持つ」者の増加という考え方があります。

新規感染者を炙り出す「PCR検査」と並行し、同レベルで感染履歴のある者、即ち「抗体者」を炙り出す「抗体検査」を実施。検査後、「陰性の者」には感染リスクを抑える為に、検査後、あらゆる移動時に感染を遮断する「(簡易版)防護服」を装着。例えばN95マスク、簡易ゴーグル、ビニール手袋の3点により目鼻口を防護し、衛生ルールは遵守する事を徹底します。

**更に各アイテムはファッションの域まで昇華させ、その生活スタイルを楽しみます。衛生面の啓蒙を兼ねた、フィジカルコンテンツ・ビジネスです。**

~~~~~

北米始め2020年2月をピークに、景気循環が好景気から不景気へ転換しています。早期回復するという見方もありますが、国内外、コロナは「戦争」(*)であるという「ワード」を使う事で財源を度外視し禁じ手を打ってきた為、難しいかも知れません。(※「戦争」は非常事態であり、禁じ手も可能。)

寧ろICAは、仮に世界恐慌が到来しようとも、今後、「接触」「非接触」型の両面で、マーチャンダイジングの事業で着実なビジネスベースをつくりサバイバルします。特に、コロナ終息後、世界経済の中心となる「アジア圏にコミット」したビジネスを構築しつつ計画化、行動します。